

TECHNICAL DATA SHEET



NEION オーバーラミネートフィルム

リアルマット

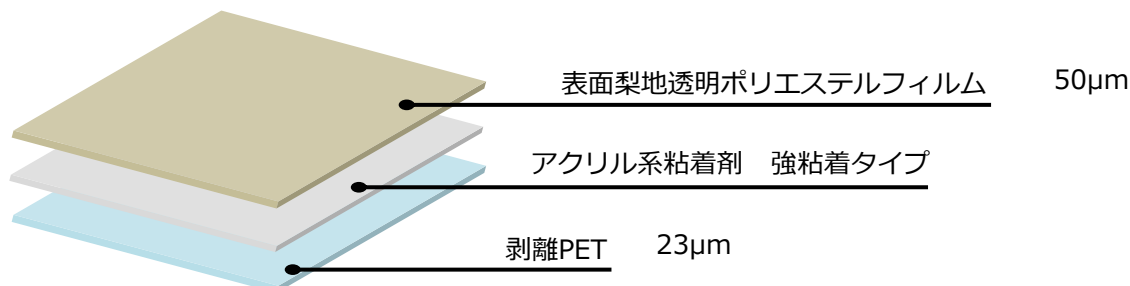
概要

NEION「リアルマット」は、表面梨地のポリエステルフィルムにアクリル系粘着剤を塗布したマットタイプのラミネート材です。表面基材は耐擦過性に優れており、深いマット感を持っています。また、粘着剤はメディアに対する密着性や透明性に優れています。

特徴

- ・表面基材は、耐擦過性に優れています。
- ・粘着剤は、密着性や透明性に優れています。
- ・ラミネート加工適性に優れています。
- ・I Jメディア・ラベル・ステッカー・銘板・看板・標識・装飾パネル・ネームプレート等のオーバーラミネートフィルムとして最適です。

製品構成



特性

試験項目			測定結果	備考
粘着力 (N/25mm)	ステンレス	20分値	19.6	・180°剥離 ・剥離速度 300mm/min ・23℃・50%RH
		24時間値	21.2	
保持力 (mm/5万秒)			0.1	・ステンレス 25mm×25mm ・40℃雰囲気下 1kg荷重
ボールタック (No.)			4~5	・J.DOW法
可視光線透過率 (%)			83.9	・JIS A5759(2008)準拠
紫外線透過率 (%) [紫外線カット率] (%)			27.0 [73.0]	

○C. S. R (Coefficient of Slip Resistance) 測定 (すべり抵抗係数)

対象となる滑り片	試料の表面状態		測定結果	備考
革靴想定 (ゴム片硬度72~80)	乾燥状態	-	0.74	・JIS A1454 ・C.S.R値 (平均値)
	湿潤状態	水	0.72	
運動靴想定 (ゴム片硬度29~35)	乾燥状態	-	0.86	
	湿潤状態	水	0.40	
ハイヒール靴想定	乾燥状態	-	0.32	
	湿潤状態	水	0.32	

※C.S.R 値について

C.S.R 値が低いほど「滑りやすく」、高いほど「滑りにくく」なります。ただし、値が高過ぎるとつまずいたりする可能性が高くなりますので、下足床で歩行される場合(靴・運動靴・サンダル等)の一般的な指標は0.4~0.9となります。また、対象となる床材がプラスチックシート(エンボス加工品)の場合、C.S.R 値の許容範囲は0.45~0.95となります。この許容範囲は、履物や動作・運動能力などによっても異なりますが、表面に水や異物等の汚れがある場合は滑りやすくなる傾向にあるため、雨や土砂等が直接あたる場所への御使用を控えて下さい。表面に汚れが付着した場合は清掃して頂くなど、使用上の注意が必要となります。また、下記のような場所に施工されますと、転倒する恐れがあるため、御使用を控えて下さい。

- ・階段等の付近に段差がある場所
- ・施行場所が平坦ではなく傾斜になっている場所

なお、今回の測定は革靴・運動靴・ハイヒール靴を想定した試験結果となります。
サンダル等を想定した試験を行う場合は、別途ゴム片硬度を変更して試験を行う必要があります。

※各試験条件について

乾燥状態…床材を清掃し、乾燥させた状態を示します。

湿潤状態(水)…床材に、水を付着させた状態を示します。(例.日常のたを想定した状態です。)

注意事項

- ・被着体表面の油・ホコリ・水などを拭き取ってから貼り付けてください。
- ・印刷済みのメディアを十分に乾燥させてからラミネート加工を行って下さい。
- ・メディア・ラミネートを室温（常温）に馴染ませてラミネート加工を行って下さい。
- ・ラミネート加工される際、テンションのかけすぎには注意願います。収縮や施工後の浮き剥がれの原因となります。
- ・ラミネート加工時の圧着が弱いと、施工後の浮き剥がれやシルバリング（細かい空気の巻き込みによる白化現象）が発生する可能性がありますので十分に圧着願います。
- ・保管場所は直射日光の当たる場所は避け、温度10℃～25℃、湿度50%RH前後、結露を避けて下さい。使用後は保管用の袋に入れ、湿気が入らないようにして下さい。
- ・納入後は出来るだけ短期間（半年を目安に）で御使用下さい。

免責事項

次の項目については責任を負いかねますのでご了承願います。

- ・この技術資料に用いている数値や表現は、弊社での測定結果に基づくものであり、保証性能ではありません。
- ・お客様の作業によって発生したラミネート加工の不具合について。
- ・万が一製品に明らかな不良があった場合は、良品と代換えをさせていただきます。その他（出力代、加工代、施工代など）に対してはご容赦願います。
- ・施工後に発生した不具合について。
- ・予告なしに製品仕様を変更する場合があります。

以 上